

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I 【○】必修【 】選択			単位数	3
担当者	池村 大一郎		花ヶ崎 惇生		宮本 由加里		
使用教科書	All Aboard! English Communication I Revised 東京書籍						
使用副教材	All Aboard! English Communication I Revised NHK 出版						
スクーリング(S)	義務出席時間数	12	レポート(R)必要提出本数	9	テスト(T)必要合格回数	3	
科目の内容 目標等	<p>教科書に即した日常的・社会的な話題について、多くの外国語運用に関する支援を活用し、以下のことを達成することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 ・必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 						

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

a・b 講座			c・d 講座			e 講座			スクーリング内容	R 番号	テスト	
月日	曜	時 限	月日	曜	時 限	月日	曜	時 限				
4/27	月	4	5/10	日	4	5/13	水	4	be 動詞、一般動詞	R1	R1~R3 合格で 6月以降 テスト1 受験可 能	
5/13	水	4	5/27	水	2	5/27	水	3	Pre-Lesson 1, 2	R1		
5/27	水	4	6/7	日	2	6/3	水	2		R1		
6/7	日	6	6/24	水	2	6/7	日	5	過去形	R2		
6/8	月	4	6/29	月	4	6/8	月	3	L1 Breakfast around the world	R2		
6/29	月	2	7/13	月	4	6/24	水	3	進行形	R3		
7/13	月	3	7/19	日	1	6/29	月	3	L2 Australia's Cute Quokkas	R3		
8/31	月	2	9/7	月	3	7/19	日	6	助動詞	R4		R4~R6 合格で 9月以降 テスト2 受験可 能
9/7	月	2	9/28	月	3	9/7	月	2	L3 Life with Spade	R4		
9/13	日	5	10/4	日	3	9/13	日	3	to 不定詞	R5		
10/4	日	2	10/21	水	4	10/4	日	2	L4 A Miracle Mirror	R5		
10/26	月	3	10/26	月	1	10/7	水	1	受動態	R6		
11/18	水	3	11/18	水	3	11/18	水	3	L6 A Funny Picture	R6		
11/30	月	1	11/30	月	1	11/30	月	1	比較表現	R7	R7~R9 合格で 12月以降 テスト3 受験 可能	
12/6	日	5	12/6	日	5	12/6	日	5	L7 A Diary of Hope	R7		
12/14	月	3	12/14	月	3	12/14	月	3	現在完了形	R8		
1/10	日	3	1/10	日	3	1/10	日	3	L8 A Door to a New Life	R8		
1/13	水	2	1/13	水	2	1/13	水	2	関係代名詞	R9		
1/27	水	2	1/27	水	2	1/27	水	2	L10 Pigs from across the Sea	R9		

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	5、6	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3、4			朱雀高
6/21	日	5、6			京都八幡高
7/5	日	4			朱雀高
7/8	水	4			朱雀高
7/13	月	1			朱雀高
8/30	日	3、4			朱雀高
9/27	日	1、2			朱雀高
9/27	日	1、2			京都八幡高
10/21	水	1			朱雀高
11/29	日	1、2			朱雀高
11/29	日	5、6			京都八幡高
1/20	水	2			朱雀高
1/24	日	5、6			朱雀高
1/31	日	5			朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2、3	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート4、5、6、7、8、9	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
趣 旨	<p>・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められた。</p> <p>・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲が見られた。</p> <p>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを取ろうとしている。</p> <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>	<p>・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着、活用することができた。</p> <p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めている。</p> <p>・外国語についての知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p> <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>	<p>・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができた。</p> <p>・外国語を用いる目的、場面、状況などに応じて、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、情報や考えなどの概要や要点を適切にとらえたりすることで、適切にコミュニケーションを取ることができている。</p> <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>

A	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。
B	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。
C	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。

添削課題の評価規準

- ・レポートの評価は5段階とします。
- ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出とします。
- ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。

考査の評価規準

- ・30点未満は再考査とします。

面接指導（スクーリング）

- ・5分以上の遅刻・早退は出席と認めません。
- ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教 科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ【 】必修【○】選択	単位数	2	
担 当 者	宮本由加里					
使用教科書	All Aboard! English Communication Ⅱ 東京書籍					
使用副教材	All Aboard! English Communication Ⅱ NHK 出版					
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	<p>教科書に即した日常的・社会的な話題について、多くの外国語運用に関する支援を活用し、以下のことを達成することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 ・必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 ・基本的な語句や文に加えて、発展的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 ・基本的な語句や文に加えて、発展的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 ・基本的な語句や文に加えて、発展的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限			
5/10	日	1	Lesson1 A Colorful Island	R1	R1~R3 合格で 7月以降 テスト1 受験可能
6/7	日	3	Lesson2 With the Beatles	R1	
6/15	月	3	Lesson3 Wild Men	R2	
6/29	月	2	Lesson4 Little Hero	R2	
8/31	月	3	Lesson5 Special Makeup in Kabuki	R3	
9/16	水	3	Reading1 Mujina	R3	
10/4	日	4	Lesson6 Seeds for Future Generations	R4	R4~R6 合格で 12月以降 テスト2 受験可能
11/11	水	4	Lesson7 Over the Wall	R4	
11/15	日	2	Lesson8 Inspiration from Nature	R5	
11/25	水	1	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate	R5	
12/14	月	2	Lesson10 Fighting Angel	R6	
1/18	月	4	Reading2 Bear's Pie	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	5、6	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3、4			朱雀高
6/21	日	5、6			京都八幡高
7/5	日	4			朱雀高

7/8	水	4			朱雀高
7/13	月	1			朱雀高
8/30	日	3,4			朱雀高
9/27	日	1,2			朱雀高
9/27	日	1,2			京都八幡高
10/21	水	1			朱雀高
11/29	日	1,2			朱雀高
11/29	日	5,6			京都八幡高
1/20	水	2			朱雀高
1/24	日	5,6			朱雀高
1/31	日	5			朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1,2	内容不備→受付不可→未提出扱い
最終	2/3	水	21:00	レポート3,4,5,6	内容不十分→再提出不可

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組む、前向きな姿勢及び努力が十分に認められた。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられた。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを取ろうとしている。 <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着、活用することができる。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めている。 ・外国語についての知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。 ・外国語を用いる目的、場面、状況などに応じて、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、情報や考えなどの概要や要点を適切にとらえたりすることで、適切にコミュニケーションを取ることができている。 <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>
A	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。
B	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。
C	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。

添削課題（レポート）の評価規準

- ・レポートの評価は5段階とします。
- ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出とします。
- ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。

考査（テスト）の評価規準

- ・30点未満は再考査とします。

面接指導（スクリーニング）

- ・5分以上の遅刻・早退は出席と認められません。
- ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	外国語	科目	論理・表現 I	【 】必修 【 ○ 】選択	単位数	2
担当者	池村 大一郎					
使用教科書	VISTA Logic and Expression I 三省堂					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスンごとに指定された文法事項を活用し、目的・場面・状況に応じて適切に話したり、書いたりすることができる。 ・各レッスンで取り上げた文法項目について理解を確認する。 					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限			
4/27	月	3	L1 自己紹介・現在形	R1	R1~R3 合格で 7月以降 テスト1 受験可能
6/3	水	2	L2 歴史上の人物について・過去形	R1	
6/15	月	4	L3 今していること・進行形	R2	
7/5	日	1	L4 夏休みの予定・未来表現	R2	
9/16	水	2	L5 経験したこと・現在完了形①	R3	
10/7	水	2	L6 続けてしていること・現在完了形②/現在完了進行形	R3	
10/14	水	1	L8 発明品について・助動詞①	R4	R4~R6 合格で 12月以降 テスト2 受験可能
11/2	月	2	L9 環境問題・助動詞②	R4	
11/15	日	5	L11 なりたい職業・不定詞①/動名詞	R5	
12/9	水	2	L12 世界遺産を紹介・不定詞②	R5	
1/10	日	4	L14 日本文化・関係代名詞	R6	
1/18	月	3	L15 SDGs について・仮定法	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	5,6	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3,4			朱雀高
6/21	日	5,6			京都八幡高
7/5	日	4			朱雀高
7/8	水	4			朱雀高
7/13	月	1			朱雀高
8/30	日	3,4			朱雀高
9/27	日	1,2			朱雀高
9/27	日	1,2			京都八幡高
10/21	水	1			朱雀高
11/29	日	1,2			朱雀高
11/29	日	5,6			京都八幡高
1/20	水	2			朱雀高

1/24	日	5、6		朱雀高
1/31	日	5		朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められた。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられた。 ・各課の言語材料に対しての理解を深め、主体的、自立的に外国語を用いて話す、書く活動を行おうとしている。 ※ 評価の規準は以下のとおりとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着、活用することができる。 ・各課の言語材料（文法項目）を理解し、外国語を用い、目的や場面、状況などに応じて適切に話したり、書いたりできる技能を身に付けている。 ※ 評価の規準は以下のとおりとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。 ・外国語を用いる目的、場面、状況などに応じて、情報や考えなどを整理し、適切に話したり、書いたりすることができる。 ※ 評価の規準は以下のとおりとする。
A	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。
B	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。
C	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。

添削課題（スクーリング）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出とします。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。

考查（テスト）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は再考查とします。

面接指導（スクーリング）

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	外国語	科目	論理・表現 I オンライン【 】必修【○】選択	単位数	2	
担当者	花ヶ崎 惇生					
使用教科書	VISTA Logic and Expression I 三省堂					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	6	レポート(R)必要提出本数	8	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	<ul style="list-style-type: none"> 各レッスンに置かれた文法項目について理解する。 レッスンごとに学習した文法事項を活用し、目的・場面・状況に応じて適切に話したり、書いたりすることができる。 ラジオ放送、テレビ放送その他の多様なメディアを利用して学習を進める。 					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限			
4/27	月	3	オリエンテーション	R1,R2	R1~R5 合格で 7月以降 テスト1 受験可能
6/3	水	2	L1 現在形、他 L2 過去形、他	R3	
6/15	月	4	L3 今していること・進行形	R4	
7/5	日	1	L4 夏休みの予定・未来表現	R4	
9/16	水	2	L5 経験したこと・現在完了形①	R5	
10/7	水	2	L6 続けてしていること・現在完了形②/現在完了進行形	R5	
10/14	水	1	L8 発明品について・助動詞①	R6	R6~R8 合格で 12月以降 テスト2 受験可能
11/2	月	2	L9 環境問題・助動詞②	R6	
11/15	日	5	L11 なりたい職業・不定詞①/動名詞	R7	
12/9	水	2	L12 世界遺産を紹介・不定詞②	R7	
1/10	日	4	L14 日本文化・関係代名詞	R8	
1/18	月	3	L15 SDGs について・仮定法	R8	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	5、6	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3、4			朱雀高
6/21	日	5、6			京都八幡高
7/5	日	4			朱雀高
7/8	水	4			朱雀高
7/13	月	1			朱雀高
8/30	日	3、4			朱雀高
9/27	日	1、2			朱雀高
9/27	日	1、2			京都八幡高
10/21	水	1			朱雀高
11/29	日	1、2			朱雀高
11/29	日	5、6			京都八幡高

1/20	水	2			朱雀高
1/24	日	5、6			朱雀高
1/31	日	5			朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】 掲載案

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組む、前向きな姿勢及び努力が十分に認められた。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられた。 ・各課の言語材料に対しての理解を深め、主体的、自立的に外国語を用いて話す、書く活動を行おうとしている。 ※ 評価の規準は以下の通りとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着、活用することができた。 ・各課の言語材料（文法項目）を理解し、外国語を用い、目的や場面、状況などに応じて適切に話したり、書いたりできる技能を身に付けている。 ※ 評価の規準は以下の通りとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。 ・外国語を用いる目的、場面、状況などに応じて、情報や考えなどを整理し、適切に話したり、書いたりすることができている。 ※ 評価の規準は以下の通りとする。
A	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。
B	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。
C	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。

添削課題（レポート）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出とします。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。

考查（テスト）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は再考查とします。

面接指導（スクーリング）

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席にならなりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	【 】必修 【 ○ 】選択	単位数	2
担当者	池村 大一郎					
使用教科書	VISTA Logic and Expression Ⅱ					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	<ul style="list-style-type: none"> 各レッスンで取り上げられる話題や場面ごとに指定された語彙・表現を適切に使うことができる。 各レッスンで設定された話題・場面・状況・目的に応じて、内容を整理して適切に話したり、書いたりすることができる。 					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限			
5/13	月	3	L1 人物を描写	R1	R1~R3 合格で 7月以降 テスト1 受験可能
6/7	水	2	L2 宇宙体験のアイデアを募集	R1	
7/5	月	4	L3 道案内	R2	
7/8	日	1	L4 お勧めのスポットを紹介	R2	
7/19	水	2	活動2 よくわかるスピーチ	R3	
9/16	水	2	L6 面接で自分をアピール	R3	
10/21	水	1	L7 ロボットコンテストに応募	R4	R4~R6 合格で 12月以降 テスト2 受験可能
11/11	月	2	L8 和食レシピを紹介	R4	
11/30	日	5	L9 ルームメイト募集広告を書く	R5	
12/6	水	2	L10 バイオミクリーについて	R5	
1/13	日	4	L11 社会問題と解決策	R6	
1/18	月	3	活動5 よくわかるディベート	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	5,6	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3,4			朱雀高
6/21	日	5,6			京都八幡高
7/5	日	4			朱雀高
7/8	水	4			朱雀高
7/13	月	1			朱雀高
8/30	日	3,4			朱雀高
9/27	日	1,2			朱雀高
9/27	日	1,2			京都八幡高
10/21	水	1			朱雀高
11/29	日	1,2			朱雀高
11/29	日	5,6			京都八幡高

1/20	水	2			朱雀高
1/24	日	5、6			朱雀高
1/31	日	5			朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	内容不十分→再提出不可

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組む、前向きな姿勢及び努力が十分に認められた。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられた。 ・各課の言語材料に対しての理解を深め、主体的、自立的に外国語を用いて話す、書く活動を行おうとしている。 ※ 評価の規準は以下のとおりとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着、活用することができる。 ・各課の言語材料（語彙・表現）を理解し、外国語を用い、目的や場面、状況などに応じて適切に話したり、書いたりできる技能を身に付けている。 ※ 評価の規準は以下のとおりとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。 ・外国語を用いる目的、話題、場面、状況などに応じて、情報や考えなどを整理し、適切に話したり、書いたりすることができる。 ※ 評価の規準は以下のとおりとする。
A	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。
B	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。
C	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。

添削課題（レポート）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出とします。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。

考查（テスト）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は再考查とします。

面接指導（スクーリング）

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	英語	科目	異文化事情	【 】必修 【 ○ 】選択	単位数	2
担当者	花ヶ崎 惇生					
使用教科書	Watching World 浜島書店					
使用副教材						
スクーリング(S) 義務出席時間数	4	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	1	
科目の内容 目標等	・さまざまな国の文化的特徴について、英語を通じて学習、理解する。 ・他国の文化に興味を持ち、調べたり、発信したりすることができるようになる。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
5/13	水	2	L1 China	R1	R1~R6 合格で 12月以降 テスト 受験可能
6/7	日	3	L2 Singapore	R2	
7/5	日	5	L3 Australia	R3	
10/21	水	2	L4 India	R4	
11/30	月	3	L5 Turkey	R5	
12/14	月	1	L6 Egypt	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対象	場所
5/24	日	5、6	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3、4			朱雀高
6/21	日	5、6			京都八幡高
7/5	日	4			朱雀高
7/8	水	4			朱雀高
7/13	月	1			朱雀高
8/30	日	3、4			朱雀高
9/27	日	1、2			朱雀高
9/27	日	1、2			京都八幡高
10/21	水	1			朱雀高
11/29	日	1、2			朱雀高
11/29	日	5、6			京都八幡高
1/20	水	2			朱雀高
1/24	日	5、6			朱雀高
1/31	日	5			朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組む、前向きな姿勢及び努力が十分に認められた。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられた。 ・他国の文化に興味を持ち、自ら調べたり、発信したりすることができる。 <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着、活用することができる。 ・各他国の文化に興味を持ち、具体的な特徴について適切に調べ、まとめることができる。 <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。 ・他国の文化に興味を持ち、聞いたり、調べたりしたことを、適切に発信することができる。 <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>
A	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。
B	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。
C	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。

添削課題（レポート）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出とします。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。

考查（テスト）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は再考查とします。

面接指導（スクーリング）

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	英語	科目	異文化探究	【 】必修 【 ○ 】選択	単位数	2
担当者	花ヶ崎 惇生					
使用教科書	Watching World 浜島書店					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	4	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	1
科目の内容 目標等	・さまざまな国の文化的特徴について、英語を通じて学習、理解する。 ・他国の文化に興味を持ち、調べたり、発信したりすることができるようになる。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
5/10	日	2	L8 Russian	R1	R1~R6 合格で 12月以降 テスト 受験可能
5/27	水	3	L9 The U.K.	R2	
7/13	月	2	L10 Iceland	R3	
10/7	水	1	L11 Brazil	R4	
12/6	日	2	L12 Mexico	R5	
1/18	月	2	L13 The U.S.	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対象	場所
5/24	日	5、6	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3、4			朱雀高
6/21	日	5、6			京都八幡高
7/5	日	4			朱雀高
7/8	水	4			朱雀高
7/13	月	1			朱雀高
8/30	日	3、4			朱雀高
9/27	日	1、2			朱雀高
9/27	日	1、2			京都八幡高
10/21	水	1			朱雀高
11/29	日	1、2			朱雀高
11/29	日	5、6			京都八幡高
1/20	水	2			朱雀高
1/24	日	5、6			朱雀高
1/31	日	5			朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】 掲載案

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組む、前向きな姿勢及び努力が十分に認められた。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられた。 ・他国の文化に興味を持ち、自ら調べたり、発信したりすることができる。 <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着、活用することができる。 ・各他国の文化に興味を持ち、具体的な特徴について適切に調べ、まとめることができる。 <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。 ・他国の文化に興味を持ち、聞いたり、調べたりしたことを、適切に発信することができる。 <p>※ 評価の規準は以下の通りとする。</p>
A	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。
B	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。
C	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。

添削課題（レポート）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出とします。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。

考查（テスト）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は再考查とします。

面接指導（スクーリング）

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。
